



校長室だより

「コロナだからできた！」を合言葉に充実の2学期終了

コロナ感染第3波拡大のニュースが巷を流れる中、中込中学校では本日無事2学期終業式を迎えることができました。今学期は様々な学校行事等の変更もありましたが、この様な中でも大きな成果と成長を得ることができた学期になりました。本日初めてリモートで行った2学期終業式では、2学期を振り返って以下のような話しをさせていただきました。

「こころに残った3つの出来事」

全校の皆さん、今日で2学期が終わります。1学期もそうでしたが、今年の2学期はいろいろな意味で、忘れられない学期になりました。まずは中込中学校が2学期1日も休校することなく、今日の終業式を無事迎えられたことに「ほっ」としています。

さて、2学期を振り返ってみると、今年のキーワード「ピンチはチャンス」そして「コロナだからできなかつたから、コロナだからできた」へ発想を転換し、みんなで困難や制約を乗り越える中で、大きく成長した学期になったと思います。この様な視点でこの5ヶ月を振り返った時、特に心に残ったことを3つ話したいと思います。

まず1つ目は9月の「秋桜祭」です。先日完成したDVDが届けられ、改めて2日間を振り返ってみました。【コスモステージ】をメインにしながら、今年ならではの中身の濃い2日間になったと改めて実感しました。「コスモステージ」の発表や学級展示を各クラスで企画推進していくなかで、例年にはない話し合いや準備、練習が何日も続けられたことと思います。限られた時間や条件のなかで、いかに自分達ならではのパフォーマンスをするかについて、クラスで練り上げていった時間は、コロナ禍の今年でなければ経験することのない貴重な成長の時間になりました。



【クラス全員で披露したグレイテストショーマン】



【猛暑の中で涼しさを体感した3年生修学旅行】

2つ目は各学年の校外学習です。3年生が8月に行った「駒ヶ岳千畳敷カールとぶどう狩り」の修学旅行、10月には1年生の「松代大本営跡と八角三重の塔、及び無言館」の見学、さらに2年生の「北横岳ハイキングとフォレストアドベンチャー体験」と、2学期には全学年が校外学習を実施することができました。県内幾つかの学校で校外学習が中止に追い込まれる中で、「コロナだからできること」を合い言葉に、全学年工夫して校外学習が実施できたことを大変嬉しく思います。今年はこちらの行事に「GO

TO トラベル」を適用できたことで、今年ならではの特典もありました。更に個人的なことを言うと、私自身昨年度は会議なども多く日程が合わず、これらの校外学習に1つも参加できなかったのですが、今年はいずれの校外学習に参加することができ、これも「コロナだからできたこと」のひとつになったと思います。

(裏面へ続きます)



【松代地下壕で日本の現代史を学んだ1年生】

最後の3つ目です。それは、先週行われた「第2回学友会総会」です。約2時間30分という長丁場になりましたが、今年度の学友会を締めくくるにふさわしい、充実した時間になりました。私が特に心に残った討議は、終盤1年2組から出された「体育館の休み時間使用回数改善修正案」についての話し合いの場面です。何人かの2～3年生から「現状維持」の発言が続くなか、1年2組のK君が「自分達はいいけど、来年の1年生のことを考えると変えた方がよいと思います」3年1組のN君も「来年度は縦割り学年で仲良くしたいという願いもあるはずだ

し、週5日の使用日を月単位で考えれば改善できるのではないか」という意見が出され、最終的にはこの場で決議するのではなく、体育委員会で検討してもらうという方向に話しがまとまりました。全校生徒が学校生活をよりよく、より楽しく過ごすために、「利己」だけでなく「利他」の精神も併せ持ちながら討議が深められた、充実した話し合いだったと感じました。

2学期始業式で私は2学期の目標を次のよう話しました。「現状を嘆くだけでなく、現状を正しく捉え、様々な制約を生かし、工夫しながら、新たな生き方を見つけていく大きなチャンスと捉えたい」でした。今改めて2学期を振り返った時、「コロナだからできた」を合い言葉にしながら、この目標に近づくことができた実り多い学期になったと思います。



【学友会総会で新会長から紹介された2年生新役員】

さて、明日から楽しい冬休みです。今年の冬休みは12日間とやや短めですが、冬休みが終わると、3年生にとって人生最初の大きな壁とも言える「受験」が控えています。また、1年生は中学校での「先輩」になる準備を、2年生は中込中を引き継いでいく大黒柱となる大事な引き継ぎの3学期です。コロナの感染予防を意識しながら、この冬休みにしっかりとエネルギーを蓄え、家の方や地域の方々と仲良く、安全に楽しく過ごしてください。そして新年1月7日(木)には、また、元気に集まりましょう。以上で2学期終業式の話を終わります。

「学校は何の為にあるか?」という根源的な問いをコロナから突きつけられた1年でした。答えは模索中ですが、リモートでは得られない「人と人との関わり方」は集団生活でなければ学べない大事な要素のひとつだと改めて感じました。別件になりますが、先日中込の「光和建設」様から「地域の方から学校へ寄付をしてほしいと段ボールを大量に預り、それを資源回収に回したお金です」というご連絡がありご寄付をいただきました。コロナ禍にもかかわらず、今年も例年のようにPTA資源回収を2回実施し、その上この様にご寄付もいただき、本当に感謝しております。地域の皆様や保護者の皆様の中込中への熱い想いを真摯に受け止め、期待に応えられるよう一層努力していかねばと改めて思いました。

コロナの心配事に関わらず、学校へのご意見、ご要望等ありましたら、右の連絡先へお問い合わせ下さい。ねずみ年の2020年、いろいろな意味できっと生涯忘れられない1年になったと思います。来年は「丑年」。ゆっくりと、しかし着実に歩みながら成果を残す1年にしたいです。コロナに負けず「ピンチはチャンス」「あ・た・ま」でがんばります。どうぞよいお年をお迎え下さい。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876